



アクチュアリー
専門コース2年
廣川 智大

基礎科目全5科目合格

準会員資格取得



試験対策について

私は、結果として会計研に入学した1年目に「数学」「生保数理」「会計・経済・投資理論（KKT）」に合格し、2年目に「損保数理」「年金数理」に合格し、準会員となりました。その試験対策については多くの面で会計研の環境に依存していたなと感じています。

具体的に取り組んだものは「合格へのストラテジー（本）」「Work Book（アク研より）」「過去問（アク公式より）」「演習授業」です。学習スケジュールは春に「ストラテジー」、夏に「WB」、秋に「過去問」「演習授業」のようになっていたと思います。

取り組み方として効果的だったものは同級生達と自主的に行った「損保数理勉強会」や「年金数理勉強会」です。勉強会ではWBや過去問の進捗を管理したり、各自の解答を共有し合って問題に対する理解を深めたりしていました。自分が解けなかった問題も勉強会の仲間が理解しているということがよくあり、気軽に疑問点を質問し合える環境が整っていたことが私にとっては良かったです。

勉強場所でもよく利用していたのは「11号館の地下1階自習室」と「9階～11階等にあるゼミ室」です。自習室では仲間達もよく勉強していたので、互いに刺激を与え合う良い環境ができていたなと思います。

入学検討中の方へのメッセージ

経済学部時代に就職するか院進するかで悩んでいた私の目線から、会計研をおすすめする理由を3つ挙げたいと思います。

1. アクチュアリーを目指すのであれば最適な環境

試験対策として演習科目や環境が整っているのはもちろんのこと、多くの講義において、保険業界で実務を経験されている方が講師をしていらっしゃるの、アクチュアリーや保険業界についても理解を深めることができます。アクチュアリーに関する様々な情報を講義の中で得られてしまうのがこの会計研の魅力だと思います。

2. 時間的余裕からさまざまなことに挑戦できる

学部から就職しないことの最大のメリットだと思います。自分は試験勉強にこの時間を費やしましたが、アクチュアリーコースの仲間達を見ていると修士論文を書いたり、データサイエンス関係の勉強をしたり、いろいろなことに挑戦できているのでおすすめです。

3. 学部の時には想像もできなかった将来のビジョンや理想像を具体的にイメージできるようになる

アクチュアリーは他の職業に比べて情報が公に出回りにくく、学部の頃はあまりイメージできないものでしたが、この会計研に入れば嫌でもアクチュアリーについて知ることになるので、「自分は将来こういう部署でアクチュアリーとして働きたい！」とか「以前は生保業界で働きたいと漠然と考えていたけど、～先生の話聞いて自分のしたい仕事は損保向きなんだ！」というように、将来について具体的に考えられるようになります。



アクチュアリー
専門コース1年
寺山 和志

基礎科目全5科目合格

準会員資格取得



試験対策

私は学部時代に「数学」と「KKT」に合格し、今年度に「生保数理」「損保数理」「年金数理」に合格し、準会員となりました。試験対策として行ったことのうち効率的であったと感じたことは3つあります。1つ目は、自習室での勉強です。会計研には11号館地下に自習室があり、静謐な空間で長時間集中できるスペースが用意されています。アクチュアリー試験は一般的に長い勉強時間が必要とされ、さらにそれには質の高さも要求されます。このようなものを得るための近道として環境を整えることがあり、私にとって自習室の環境がそれを十分に満たすものでありました。合格への効率化になったことは間違いなく考えています。

2つ目は、会計研におけるアクチュアリー試験関連の授業講義です。アクチュアリー試験関連の授業講義で、主に春学期に講義を行い、秋学期に演習を行う構成になっています。特に秋学期は9月下旬に始まり、8回の授業でその試験科目のすべての範囲を取り上げます。ここで出題される細かい内容の演習問題やその発表により、自身の覚えきれていないことを洗い出すことが出来ます。これは受験科目への非常に効率的な復習になりました。

3つ目の自主ゼミの開催は、最も試験合格の助けになったと考えています。アクチュアリー専門コースの多くの同期は1次試験突破を目標としており、同じ目標を持った学生と一緒に勉強することは、モチベーションの維持や勉強の進捗管理に役立ちます。またそこで関わる同期とのつながりは、勉強に関してわからないことをお互いに教えあえる他、試験勉強を共に支えあうことのできる仲間となり、あの時間なしで試験に合格していたことはなかったと思っています。資格試験は運も大きな要素の一つですが、それらの効果や助けがあって初めて、私は準会員になることが出来たと考えています。

入学検討中の方へのメッセージ

会計研ではいろいろな経歴を持たれているアクチュアリーの方々の講義、講演会があります。参加しているだけでいろいろな世界があることがわかり、自分自身の視野を大きく広げることになります。同期は会計、データサイエンス、数学等、勉強だけでも様々なバックグラウンドを持っている人が多く、会計研では自分の知らない新しい知識がどんどん流れ込んできます。アクチュアリーを目指し、これから活躍していきたいと考える人にとって、会計研は、きっとどこよりもいい環境であり、その中で過ごしたこの一年はとても貴重で実りのあるものになりました。私がそのように感じたよう、これから会計研に入る多くの人が大学院生活を実りのある豊かなものにしていくことを心から祈っています。



会計専門コース2年
上野 蒼太

基礎科目2科目合格



アクチュアリー試験を目指した経緯

私は会計専門コースで入学し、1年次には会計士論文式試験に合格して、2年次には監査法人に非常勤職員として勤務していました。そんな私がなぜアクチュアリー試験を志したかということ、会計以外に何か1つ自分だけの強みを手に入れたいと思ったからです。もともと会計研への入学を決めたのも、「会計+1」というコンセプトに非常に魅力を感じたからです。特に、アクチュアリーが活躍する保険会社の監査では、IFRSの適用等により、アクチュアリーの知見のある会計士の需要が高まっており、統計学などの数理的な分野に関心があった自分にとってはチャンスだと感じました。

アクチュアリー試験は、会計士試験とは異なり、専門の予備校もなく、基本的には独学で目指すことができ、誰でも受けやすい試験だと考えています。また、アクチュアリー試験の1次科目である「KKT」や「数学」は、会計士試験の財務会計論や経営学、経済学や統計学と範囲が被っている部分が多く、会計士試験を受験した方からすると比較的勉強しやすいといえます。また、会計研では、会計専門コースの学生も自由にアクチュアリー科目を受講することができ、経験豊富な先生方から効果的に学ぶことができます。会計士試験を目指す方・すでに合格した方も、会計研で是非アクチュアリー試験も目指してみたいはいかがでしょうか。

試験対策について

私は今年度、「数学」と「KKT」の2科目に合格しました。「KKT」は、会計士試験の勉強をしていたこともあり、教科書・参考書の内容を理解・暗記する以外は特筆するほどの対策はしていなかったもので、「数学」の試験対策についてご紹介します。

数学は、アクチュアリー1次試験の中で最も受験者が多い科目ですが、ここ数年で大きく難化しているように感じます。その大きな要因は、「未出問題」の存在だと思います。一般的にアクチュアリー試験の対策としては、教科書の内容を理解し、過去問を20年分ほど完璧になるまで何度も解き直すことで、公式や解法を定着させていくことが定石とされています。市販されている参考書も、主に過去問に基づいて執筆されていますが、数学の試験では毎年、これまでは出題されていなかった「未出問題」が多く、多くの受験生を悩ませていると感じます。会計研でのアクチュアリー科目の受講は、こういった「未出問題」への対策に非常に役に立ちました。講義や演習の中で先生が作成した「未出問題」を実際に時間を計って解くことで、試験本番でも落ち着いて「未出問題」に取り組みましたし、それらの問題を完璧になるまで何度も繰り返すことで、過去問と同じように公式や解法を定着させることができたと感じています。

「未出問題」以外にも、会計研の講義は大きな助けとなりました。膨大な試験範囲の中から、覚えておくべき公式をピックアップしていただき、その公式を利用する課題に取り組むことで、合格レベルに一直線に到達するように勉強できました。数学の試験ですので、文章や語句の暗記は必要ありませんが、その代わりに非常に多くの公式を覚えなければなりません。私は、単語カードに公式を書き、暇さえあればいつでも復習するように努めました。アクチュアリー試験は独学の人が多いため、基本的には孤独な勉強になりがちですが、同じ講義を受講する同級生と切磋琢磨しながら、共に合格に向けモチベーションを高めあうことができるのも、会計研の大きなメリットかなと思います。

アクチュアリー専門
コース2020年度修了
伊神 匠悟

2021年度

第2次試験合格

正会員資格取得へ



試験対策について

私は監査法人に勤務していることもあり、社会人になってもなかなか保険会社の実務に直接触れることがありませんでした。今年合格した「生保1」では主に商品開発に関係する内容が問われるのですが、当然私には商品開発の経験はありません。そのような状況下でも合格できたのは、大塚先生の特別なご厚意で土日に開催していただいた2次試験対策の勉強会のおかげです。テクニカルな話は脇に置いておくとして、2次試験では教科書の内容の暗記が求められる知識問題とアクチュアリーとしての所見が求められる所見問題が問われます。勉強会では適宜疑問点を質問できる場を設けていただいて教科書の理解を深めると共に、所見の文章の書き方についても丁寧に指導いただきました。このような貴重な機会を設けていただいたことについて、大変感謝しております。

合格へのモチベーション

2次試験の勉強は暗記の要素が強く、1次試験の勉強との大きな違いに戸惑ってしまい、試験勉強のモチベーションを維持することが難しい時もありました。1次試験では計算問題が多く、問題を解けるようになったときの達成感がある程度は得られるかと思いますが、2次試験において自分はそのような達成感はなく得られませんでした。そんなときに私は、来年以降このような試験勉強をしなくて済むように、今年の試験勉強を頑張ろうと思って乗り越えてきました。実際もう暗記作業をしなくていいという解放感は格別なものです。

後輩へのメッセージ

試験対策の所でも記載しましたが、大塚先生に2次試験対策の勉強会を開催していただいております。私は今後関わっていくことは少なくなるかもしれませんが、時々顔を出せるかと思っていますので、2次試験の合格を目指している方で興味があったら是非参加してみてください！